

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 23.12.15 第 179 回国会第 5 号（閉会中審査）

12月15日（木）第5回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・鹿野農林水産大臣、石田内閣府副大臣、筒井農林水産副大臣、加藤外務大臣政務官、神本文部科学大臣政務官、仲野農林水産大臣政務官、津川国土交通大臣政務官、高山環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 打越 あかし君（民主）

- ・離島における農林水産業を維持するために農林水産省はどういった施策を講じているのか。
- ・離島における6次産業化推進のために、特産物の商品開発等の専門的な人材の育成・派遣に取り組む必要があるのではないか。
- ・離島における零細漁業をサポートする観点から、離島における沿岸漁業と大中型まき網漁業の操業区域の調整が必要だが、水産庁はどう取り組むのか。

### 木村 太郎君（自民）

- ・果樹関係団体からの要望を踏まえ、平成13年度から18年度に行われていた果樹経営安定対策を復活すべきではないか。
- ・事業仕分けにより「子ども農山漁村交流プロジェクト」の予算が大幅に削減されたが、同事業の重要性についてどう認識しているのか。
- ・我が国の漁業者が安心して操業できるよう尖閣諸島に灯台、無線中継所等を設置すべきではないか。

### 武部 勤君（自民）

- ・有害鳥獣による被害は拡大し、農村の荒廃を招いているが、その生息数の把握及び捕獲等の管理体制の現状はどうなっているのか。
- ・TPPへの参加と食料・農業・農村基本計画に掲げた食料自給率目標50%は両立できるのか。
- ・国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産」に、我が国で選ばれたのはどこか。

### 江藤 拓君（自民）

- ・除染が必要な農地、森林の面積及び除染のタイムスケジュールはどうなっているのか。
- ・原発周辺地域で放置され餓死した家畜の処理、野生化した家畜への対処について現状はどうなっているのか。
- ・TPP交渉参加合意後に国会で批准をしないということは実際可能なことなのか。

### 石田 祝稔君（公明）

- ・TPP協定交渉参加に向けた関係国との協議に関する政府の体制はどのようになっているのか。
- ・農業者戸別所得補償制度に関する3党協議が打ち切られたが、同事業について平成24年度予算にどのように計上するのか。また、関連法案は提出するのか。
- ・放射性セシウムにより汚染された稲わらや堆肥の現在の処分状況はどのようになっているのか。

### 吉泉 秀男君（社民）

- ・米の生産数量目標が2年連続して800万トンを下回っており、生産数量の設定の考え方を見直す必要があるのではないか。
- ・6次産業化を推進するファンドの具体的な検討状況はどうなっているのか。
- ・山林の除染を環境省ではなく農林水産省が主導して行っていく必要があると考えるが、現状の体制はどうなっているのか。